

# 大分県新エネルギービジョンにおけるエコエネルギー導入目標の改定の概要

平成26年3月

## 1. 現状

平成25年3月末時点において、既に導入目標に迫る導入が進む。

	平成24年3月末現在		平成25年3月末現在(A)		平成27年度導入目標(B)		達成率 (H25年3月現在) A/B
	設備容量等	原油換算 (万kl)	設備容量等	原油換算 (万kl)A	設備容量等	原油換算 (万kl)B	
1 太陽光発電	77,791 kW	1.91	113,812 kW	2.79	136,000 kW	3.40	82.1%
2 太陽熱利用	3 万kl	3.12	3 万kl	3.13	3 万kl	3.38	92.6%
3 風力発電	11,497 kW	0.50	11,497 kW	0.50	17,900 kW	0.78	64.1%
4 地熱発電	154,890 kW	26.18	154,890 kW	26.18	157,890 kW	26.69	98.1%
5 温泉熱発電	3 kW	0.00	48 kW	0.008	500 kW	0.085	9.5%
6 バイオマス発電	12,435 kW	1.28	12,435 kW	1.28	18,075 kW	1.86	68.8%
7 バイオマス熱利用	79,172 kW	8.16	91,559 kW	9.43	67,068 kW	6.91	136.5%
8 水力発電	339,235 kW	13.38	339,213 kW	13.38	338,189 kW	13.34	100.5%
(内小水力発電以外)	337,539 kW	13.31	337,538 kW	13.31	335,640 kW	13.24	100.5%
(内小水力発電)	1,696 kW	0.07	1,675 kW	0.07	2,549 kW	0.10	70.0%
9 廃棄物発電	42,100 kW	5.57	42,100 kW	5.57	42,100 kW	5.57	100.0%
10 天然ガスコージェネレーション	22,906 kW	0.51	22,906 kW	0.51	17,056 kW	0.38	134.2%
11 燃料電池	83 kW	0.00	118 kW	0.0012	19,000 kW	0.20	0.60%
12 クリーンエネルギー自動車	17,879 台	0.36	26,075 台	0.53	55,800 台	1.13	46.9%
合計	-	60.96	-	63.31	-	63.72	99.4%

◎目標を上回る導入が進んでいる要因

- ・東日本大震災及び福島第一原発事故以来、再生可能エネルギーがこれまで以上に関心を集める
- ・固定価格買取制度において、導入促進のため、買取価格が高めに設定され、太陽光発電を中心に、再生可能エネルギーが急速に普及

→固定価格買取制度の影響を受けるエネルギーのうち、導入目標を超える大幅な導入が見込まれるエネルギーの導入目標を見直し

## 2. 新導入目標

太陽光発電	実績からの推計値を目標値とする
地熱・温泉熱発電 バイオマス発電 廃棄物発電	導入見込量を目標値とする
風力発電 小水力発電	改定は行わない

	現27年度導入目標		新27年度導入目標	
	設備容量等	原油換算 (万kl)	設備容量等	原油換算 (万kl)
1 太陽光発電	136,000 kW	3.40	645,025 kW	15.80
2 太陽熱利用	3,380 万kl	3.38	3,380 万kl	3.38
3 風力発電	17,900 kW	0.78	17,900 kW	0.78
4 地熱発電	157,890 kW	26.69	158,890 kW	26.85
5 温泉熱発電	500 kW	0.08	1,348 kW	0.23
6 バイオマス発電	18,075 kW	1.86	36,185 kW	3.73
7 バイオマス熱利用	6,908 万kl	6.91	6,908 万kl	6.91
8 水力発電	338,189 kW	13.34	338,189 kW	13.34
(内小水力発電以外)	335,640 kW	13.24	335,640 kW	13.24
(内小水力発電)	2,549 kW	0.10	2,549 kW	0.10
9 廃棄物発電	42,100 kW	5.57	46,100 kW	6.10
10 天然ガスコージェネレーション	17,056 kW	0.38	17,056 kW	0.38
11 燃料電池	19,000 kW	0.20	19,000 kW	0.20
12 クリーンエネルギー自動車	55,800 台	1.13	55,800 台	1.13
合計	-	63.72	-	78.83



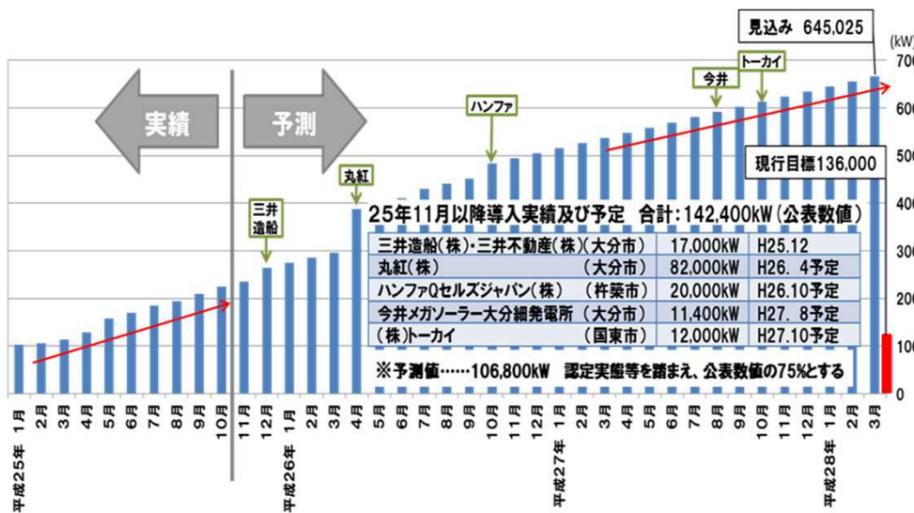
## 3. 個別の見直し検討

### 太陽光発電

	現27年度導入目標		(平成25年3月現在)		新27年度導入目標	
	設備容量等	原油換算 (万kl)	設備容量等	原油換算 (万kl)	設備容量等	原油換算 (万kl)
太陽光発電	136,000 kW	3.40	113,812 kW	2.79	645,025 kW	15.80

導入実績 → これまでの実績から今後の導入量を推計 → 新目標値

予測値: 10MW以上 (公表数値、関係機関からの聞き取り数値を計上 106,800kW) + 予測値: 10MW未満 (これまでの導入実績から(10M以上除く) 10,800kW/月と推計) = **645,025kW (旧目標の470%)**



### 地熱発電・温泉熱発電

民間企業の導入予定等を踏まえ、追加導入を見込む導入を一層進めるため、積極的に施策を展開

	27年度導入目標		平成25年3月現在			今後の導入見込み			導入予定
	設備容量等	原油換算 (万kl)	設備容量等	原油換算 (万kl)	達成率 B/A (%)	設備容量等	原油換算 (万kl)	達成率 C/A (%)	
地熱発電	157,890 kW	26.69	154,890 kW	26.18	98.1%	158,890 kW	26.85	100.6%	西日本環境エネルギー(株)(九重町) 4,000kW(送電端) H27.3予定
温泉熱発電	500 kW	0.08	48 kW	0.008	9.6%	1,348 kW	0.228	269.6%	県補助・ファンド支援による事業 800kW 瀬川町発電所の導入促進 500kW

### バイオマス発電・小水力発電・廃棄物発電

民間企業の導入予定等を踏まえ、追加導入を見込む小水力発電については、当初導入目標を達成できるよう、「清流発電」等の導入促進や導入適地の選定など重点的に支援

	27年度導入目標		平成25年3月現在			今後の導入見込み			導入予定
	設備容量等	原油換算 (万kl)	設備容量等	原油換算 (万kl)	達成率 B/A (%)	設備容量等	原油換算 (万kl)	達成率 C/A (%)	
バイオマス発電	18,075 kW	1.86	12,435 kW	1.28	68.8%	36,185 kW	3.73	200.2%	二重増産協賛組合(日田市) 50kW (株)グリーン発電大分(日田市) 5,700kW アールイー大分(株)(豊後大野市) 18,000kW H27予定
小水力発電	2,549 kW	0.10	1,675 kW	0.07	69.7%	2,555 kW	0.10	100.0%	小水力発電施設整備事業 640kW 清流発電等の導入促進 240kW
廃棄物発電	42,100 kW	5.57	42,100 kW	5.57	100.0%	46,100 kW	6.10	109.5%	瀬川谷清掃センター(別府市) 4,000kW H26予定

## 4. 今後の普及に当たって ~地域との共生~

- ▶ 固定価格買取制度が始まって以来、太陽光発電を中心とした設備導入が、県内各地で加速度的に進む一方、大規模な太陽光発電設備の導入計画に対し、自然環境や景観、生活環境との調和を懸念する地域も出ている。
- ▶ このような問題は、太陽光発電だけに限ったものではなく、エコエネルギーの利用が自然を相手にした取組である以上、地熱発電と温泉の競合など、今後とも、導入地域での調和や共生を十分考慮していく必要がある。
- ▶ そもそも本ビジョンの策定根拠である「大分県エコエネルギー導入促進条例」の前文には「『環境立県おおいた』の実現に向け、(略)、『県民、事業者、行政の共働』の視点に立って、地域の自然や産業の特色を生かしたエコエネルギーの導入を促進」することが規定されている。
- ▶ 本県としては今後も、エコエネルギーの導入を積極的に促進、支援していくが、**単なる導入促進ではなく、今一度、同条例の趣旨に立ち返り、県民、事業者、行政が共働し、自然環境・景観との調和や地域との共存共栄を図ることで、何より地域の振興につながるエコエネルギーの導入を進めていく。**